

令和7年度 学生挑戦プロジェクト報告書

英国剣道連盟とのパートナーシップによる剣道修行体験

232006 武道課程3年 植田理太

渡航に際して想定される案件と対応

想定される案件（リスク）	報告
・ 予算について	①渡航費に支援金30万円を当て、不足分は自己負担とした。 ②予定していた予算内に収まった。
・ 交通費、通信費	①交通費は惜しまずに使った ②海外用プランもセットのahamoと契約した。
・ 病気や怪我等について	①海外旅行保険に加入した ②常用薬・必要な処方薬・テーピングは持参をし、事前に怪我や病気を防ぐことができた
・ 安全面について	①地域の治安情報の確認→外務省や現地の大使館の情報を常にチェックし生活した ②貴重品を最小限にして、常に持ち歩くようにした。

発表構成

1. プロジェクト背景
2. プロジェクト目的
3. 具体的内容
4. 現地での活動状況
5. 成果や波及効果

1. プロジェクトの背景

(1) 日本の剣道人口の減少 (特に中高生年代で辞める人の増加)

[令和3年度加盟校調査集計\(確定値\).pdf](#)公益財団法人日本中学校体育連盟

[令和6年度加盟登録状況](#)公益財団法人日本高等学校体育連盟



(2) 国際的には剣道は普及率が上がっている [International Kendo Federation](#)

(3) 本学剣道部と英国剣道連盟とのパートナーシップ協定 <https://www.nifs-k.ac.jp/news/topic/89310/>

2.プロジェクト の目的

- ①「生涯剣道」を目指した指導法の探究
- ②イギリス剣道界（特に青年層）の発展
- ③自身の実技力向上（剣道の幅を広げる）

3. 具体的内容

項目	具体的内容
活動期間	夏季休業期間の8月18日～9月12日 (26日間)
渡航予定国	イギリス
衣食住	ホームステイ (虎道場所属ジャクブ ポロさん宅)
コミュニケーション	英語

4. 現地での活動状況

虎道場 8月19日、21日、23日、26日、28日、30日

K C L 8月24日、9月9日

若葉道場 8月27日、9月3日、

椿道場 8月21日

レディング 9月2日

スクワッド 9月6日、7日

オックスフォード大学 9月8日

オックスフォード剣友会 9月10日

合計16回

虎道場

訪問日 8月19日、21日、23日、26日、28日、30日

時間 (火・木) 20時～22時

(土) 10時～13時

場所 The London nautical school

参加人数 20～30人

稽古内容 (平日) 体操 素振り 基本稽古 追い込み 地稽古

(休日) 体操 素振り 基本稽古 技の稽古 試合・審

判の練習 地稽古 形稽古





KCL 剣道部

- 訪問日 8月24日、9月9日
- 時間 10時～12時
- 参加人数 12人
- 稽古内容 体操 素振り 基本稽古 地稽古

若葉道場

- 訪問日 8月27日、9月3日
- 時間 19時～21時
- 場所 Britannia Leisure Centre
- 参加人数 25人
- 稽古内容 体操 素振り 基本稽古 技稽古
地稽古





椿道場

- 訪問日 8月21日
- 時間 10時半～12時半
- 場所 The Carshalton Girls Educational Trust
- 参加人数 23人
- 稽古内容 体操 素振り 切り返し 技稽古 地稽古



レディング 剣友会

- 訪問日 9月2日
- 時間 19時～21時
- 参加人数12名
- 稽古内容 体操 素振り 基本稽古 地稽古
形稽古



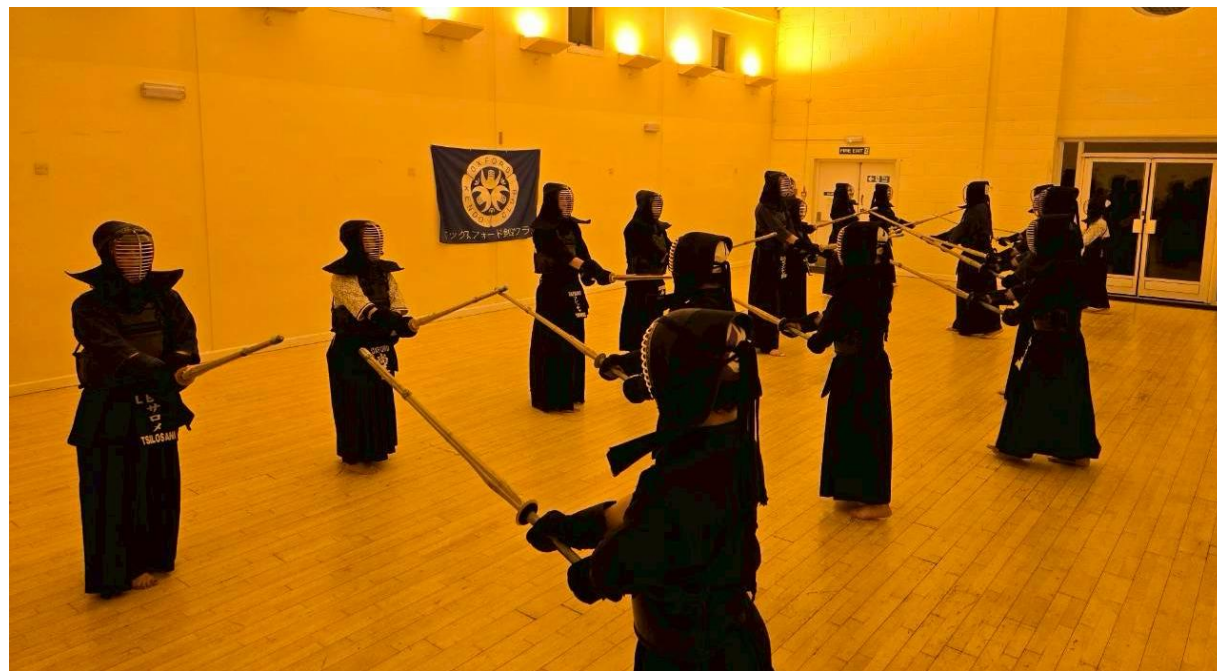
オックスフォード大学剣道部

- 訪問日 9月8日
- 時間 17時～18時
- 参加人数 6名
- 稽古内容 体操 素振り 基本稽古
技稽古 地稽古



オックス フォード[®]剣 友会

- 訪問日 9月10日
- 時間 19時～21時
- 参加人数 23人
- 稽古内容 形稽古 素振り 基本稽古 地稽古



スクワッドトレーニング (イギリス代表選手選考稽古会)

- 訪問日 9月6日、7日
- 時間 6日 12時～17時
7日 9時～13時
- 稽古内容 体操 素振り 基本稽古 三段稽古 追い込み稽古
地稽古 かかり稽古



	虎道場	KCL	若葉道場	椿道場	レディング 剣道教室	オックス フォード大学 剣道部	オックス フォード 剣友会
素振り	○	○		○	○	○	○
すり足					○		
切り返し	○	○	○	○	○	○	○
打ち込み							○
かかり稽古			○				
技稽古		○	○				○
地稽古	○	○	○	○	○	○	○
形	○				○		○
試合・審判	○						
指導者の 稽古参加	○		○		○	○	○

5.成果や波及効果

①「生涯剣道」を目指した指導法の探究

日本と比較してこれが明確に違う点やイギリスならではの練習法はなかった。

しかし、指導者が高齢な道場以外は基本打ちから指導者も稽古に参加していた。

大人から始める人が多いことや、試合に注目していないことが日本との違いだと感じた。

周りと比べたり、せずマイペースに剣道をしている印象を持った。

5. 成果や波及効果

②イギリス剣道界(特に青年層)の発展

- ・スクワッドトレーニングでは3段稽古を実演・実践を行った。
その後、若葉道場などで三段稽古が稽古に取り入れられた。
- ・イギリスの同年代の剣士とたくさん交流する中で、日本で稽古する良さと、イギリスでの稽古環境の良い点を話し合うことができた。

5. 成果や波及効果

③自身の実技力向上(剣道の幅を広げる)

- ・体格の良い相手との稽古の中で相手の力を利用することや相手の苦手な部分を見抜き、攻めることができるようになった。

- ・剣道を通して言語を越えて心が通じることや友達ができることを体験できた。

- ・変化を恐れないことを学んだ

ご静聴ありがとうございました